

22 Jun 2012

鬼北町議会 6月定例会

第2回鬼北町議会定例会は6月22日に開催されました。会では議案4件、請願2件、承認2件、同意1件、発議3件が提案され、請願が1件不採択となり、他の案件は原案のとおり可決、承認、同意されました。

議案

- 鬼北町印鑑の登録及び証明に関する条例等の一部を改正する条例について
- 鬼北町国民健康保険条例の一部を改正する条例について
- 愛媛県後期高齢者医療広域連合規約の変更について

● 平成24年度鬼北町一般会計補正予算(第1号)について

請願

- 最低賃金時給1,000円の実現と中小企業支援策の拡充を求める請願書について
- 伊方原発の再稼働を認めないことを求める請願について

承認

- 町長の専決処分(鬼北町国民健康保険条例の一部を改正する条例)の承認について

● 町長の専決処分(鬼北町税条例の一部を改正する条例)の承認について

同意

- 鬼北町固定資産評価員の選任について

発議

- 北朝鮮による拉致問題の早期解決に向けた積極的で強力な行動を求める意見書(案)について
- 鬼北町住宅新築資金等貸付事業調査特別委員会設置に関する決議について
- 伊方原発の再稼働を認めないことを求める意見書(案)について

一般質問

◆ 渡邊 眞次 議員

【町集中改革プランの進捗状況について】

【問】取組状況と今後の見通しについて

答 平成22年度から現在まで取り組んできた主なものは、定員適正化計画に基づく職員数の削減、一般競争入札制度等導入による入札・契約手続きの透明性と公平性の確保、行政組織等見直

し検討委員会による課および係の見直し、非常用電源の設置等の危機管理体制の強化、地域情報通信基盤整備事業の実施による情報化の推進、行政への住民の参画を目的とした各種審議会等の公開と委員の公募に関する要綱の検討のほか、成川溪谷休養センターへの指定管理者制度の導入および事務事業評価制度の導入についても、早期実施に向けて検討を進めている。

「出来ることから行う」という姿勢で取り組んでおり、全般的には、順調に計画が進んでいるものと考えている。今後においても、厳しい財政状況のもと、職員一人ひとりが行政改革の必要性を十分に認識し、町民サービスの向上と効率の高い行政システムの構築を図ることを目標に取り組んでいきたいと考えている。

【町内ため池の震災対策等の点検・改修について】

【問】町における取組みについて

答 本町では、町内の113箇所のため池について、老朽ため池等の防災パトロールを、毎年定期的に実施している。

この防災パトロールは、県と連携して実施しており、池の堤体からの漏水や侵食状況等を点検し、異常が認められるときは地元水利組合等ため池の維持管理者に連絡して対応を検討し、地震等による池の決壊に備えた保全管理に努めている。今年度実施する定期の防災パトロールは6月下旬に近永地区

のアチ谷池ほか3箇所を予定している。

さらに今年度においては、「緊急点検調査」として7月から8月にかけて36箇所の点検を実施することとしている。また、震度5弱以上の地震が発生した場合は、町内のため池全部を対象として緊急パトロールを実施し、決壊の恐れを点検調査し、対応していく。ため池の今後の改修計画については、地元からの要望がある内深田地区の保福池ほか2箇所を、国の農地防災事業を活用して取り組む予定である。

この他、今年度事業として、ため池が決壊した場合を想定し、住民自らが安全を確保するための行動計画や避難経路等を記載する「ため池ハザードマップ」を永野市地区の市越池ほか3箇所について作成することとしている。

◆ 程内 覺 議員

【道路状況について】

【問】交流人口増を図るための取組みについて

答 高速道路が去る3月10日に宇和島市まで開通し、利用者は非常に多くなっており、道の駅三間は開通前と比べて2.5倍から2.8倍程度に入り込み客が増えたと聞いている。

その他、高速道路沿線の宇和島市のきさいや広場、津島やすらぎの里も大幅に入り込み客が増加したと聞いているが、反面、鬼北町内の2つの道の駅と松野町・虹の森公園は微増に止まっている。私としても、このような状況には大